



雷電為右衛門 没後二百年



出雲と相撲



化粧まわし姿一人立 雷電為右衛門
(島根県立古代出雲歴史博物館蔵)

山陰中央新報社文化センター特別講座

9月8日開講〈全3回〉

相撲発祥の地は出雲とされています。それは国譲り神話における稲佐浜でのタケミカヅチとタケミナカタの力競べと、垂仁天皇七年七月七日の出雲の野見宿禰(のみのすくね)と大和の當麻蹴速(たいまのけはや)の力較べが相撲の起源とされており、どちらも出雲に関係しているからです。また歴史上、相撲を通して出雲が注目されたのは、江戸時代の勸進相撲です。松江藩はとりわけ不昧の時代に、史上最強力士とされる雷電為右衛門(らいでんためえもん)や玉垣額之助(たまがきがくのすけ)など多くの力士を抱え、お抱え力士がいなければ興行が成立しないほどだったのです。

この講座では令和七年が雷電為右衛門没後二百年という記念すべき年に当たることから、松江藩お抱え力士の活躍を中心に相撲の歴史を解説するとともに、隠岐古典相撲など島根に伝わる神事相撲について紹介します。

知って
おきたい
出雲と相撲の深い関係

講師

品川 知彦

(元・島根県立古代出雲歴史博物館学芸部長)



9月 8日(月) 相撲の起源伝承
松江藩お抱え力士(1)

9月22日(月) 松江藩お抱え力士(2)

10月 6日(月) 島根の神事相撲－隠岐古典相撲を中心に－

※いずれも午前10時～11時半 受講料 6,600円(3回分)

会場・申込先 山陰中央新報社文化センター松江教室
(松江市殿町383、山陰中央ビル4、5階)

電話0852(32)3456、フリーダイヤル(0120)079123